



福岡医発第 2485 号 (地)
令和 6 年 12 月 16 日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会
会 長 蓮 澤 浩 明
(公 印 省 略)

野生動物における重症熱性血小板減少症候群ウイルス抗体保有状況
調査結果 (令和 4 年度) について

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

人獣共通感染症の一つである重症熱性血小板減少症候群 (以下「SFTS」という。) については、西日本を中心に感染者数の報告が年々増加しています。

本県では、感染拡大の要因の一つと考えられる野生動物を対象とした標記調査を令和 4 年度から実施されております。

今般、福岡県環境部より福岡県保健医療介護部を通じて、標記調査結果について情報提供がありました。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知の上、貴会会員に対し周知方よろしくお願いいたします。

小郡三井医師会より

感染症対策担当理事 肥山淳一郎
会長 島田昇二郎

公印省略

6 疾病第 2 6 3 5 号
令和 6 年 1 1 月 6 日

公益社団法人福岡県医師会長
公益社団法人福岡県病院協会
一般社団法人福岡県私設病院協会
公益社団法人全国自治体病院協議会福岡県支部長
一般社団法人福岡県精神科病院協会

殿

福岡県保健医療介護部長
(がん感染症疾病対策課感染症対策係)

野生動物における重症熱性血小板減少症候群ウイルス抗体保有状況
調査結果（令和 4 年度）について

本県の保健医療行政の推進につきましては、平素から格別の御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

標記について、当県環境部自然環境課より調査結果報告がありました。

ダニ媒介感染症の予防啓発については、令和 6 年 4 月 19 日付 6 疾病第 383 号「ダニ媒介感染症の予防啓発及び対策の推進について」にてお願いしているところです。引き続き、貴会会員に対し、予防啓発にご協力いただけますよう、周知をお願いいたします。

－問合せ先－

福岡県保健医療介護部がん感染症疾病対策課
感染症対策係 長藤

〒812-8577 福岡県福岡市博多区東公園 7－7

TEL : 092-643-3597 FAX : 092-643-3331

Email : nagafuji-n0428@pref.fukuoka.lg.jp

保健医療介護部がん感染症疾病対策課長 殿
(感 染 症 対 策 係)

環境部自然環境課長
(野生生物係)

野生動物における重症熱性血小板減少症候群ウイルス抗体保有状況
調査結果（令和 4 年度）について

人獣共通感染症の一つである重症熱性血小板減少症候群（以下「SFTS」という。）については、西日本を中心に感染者数の報告が年々増加しています。

本県では、感染拡大の要因の一つと考えられる野生動物を対象とした標記調査を令和 4 年度から実施しています。

今回、令和 4 年度に実施した標記調査結果が確定したので下記のとおりお知らせします。

なお、人に対する SFTS の主な感染原因は、ウイルスを保有しているマダニに咬まれることであるとされています。（全てのマダニが SFTS ウイルスを持っているわけではありません。）

つきましては、貴課において野外活動や野外イベント等を行う際は、マダニによる感染症予防に留意していただきますようお願いいたします。

また、標記調査結果や感染症予防について、公益社団法人福岡県医師会及び公益社団法人福岡県獣医師会等の関係機関へ周知していただきますよう併せてお願いいたします。

記

1 添付資料

(1) 野生動物における重症熱性血小板減少症候群ウイルス抗体保有状況調査結果（令和 4 年度）

(2) マダニに注意しましょう（福岡県作成リーフレット）

2 参考

- (1) 福岡県ホームページ マダニによる感染症に注意しましょう
マダニによる感染症の予防方法、マダニに咬まれた場合の対処方法等を掲載
(<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/kansen2013021501.html>)
- (2) 厚生労働省ホームページ 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関するQ＆A
(https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/sfts_ga.html)

(お問い合わせ先)

環境部自然環境課 平山、奥迫

電話番号 092-643-3367

内線電話 3480

野生動物における重症熱性血小板減少症候群（SFTS）ウイルス 抗体保有状況調査結果（令和４年度）

1 概要

人獣共通感染症の一つである「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）※」は、西日本を中心に感染者報告数が年々増加傾向にある。

福岡県では、感染拡大の要因の一つとして考えられる野生動物を対象とした「SFTS 感染状況調査」を令和４年度から実施している。

※ 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）

主に SFTS ウイルスを保有するマダニに刺咬されることで感染する。

発熱、頭痛、筋肉痛、神経症状、消化器症状、呼吸不全症状などが症状として現れ、致死率は 10～30%程度とされる。

2 令和４年度調査内容

福岡県内で有害鳥獣捕獲や狩猟により捕獲された野生動物から血液を採取し、SFTS ウイルス抗体の保有状況を検査した。

（国立感染症研究所の検査手順に準拠）

(1) 検体種別

シカ及びイノシシの血清

(2) 調査数

127 検体（シカ 49、イノシシ 78）

3 最終検査結果

令和４年度に実施した野生動物における SFTS ウイルス抗体保有状況調査の結果については下表のとおり。

表 福岡県における SFTS 感染状況調査結果（令和４年度）

	シカ	イノシシ
陽性 ^a	37 検体	46 検体
陰性 ^b	12 検体	32 検体
陽性率 ^{a/(a+b)}	75.5 %	59.0 %

山や草むらで活動するときは、

マダニに注意しましょう

春から秋にかけての季節は、キャンプ、ハイキング、農作業など、

山や草むらで活動する機会が多くなりますが、マダニの活動も活発になります。

野山に生息するマダニに咬まれると、

重症熱性血小板減少症候群(SFTS)、ダニ媒介脳炎、日本紅斑熱、ライム病

などの感染症にかかることがあります。

予防のポイント

下の4つのことを参考にして、ダニに咬まれないようにしましょう。

(これらの予防方法はツツガムシに咬まれて感染するつつが虫病の予防にも有効です。)

1. マダニの生息場所



2. マダニから身を守る服装

野外では、腕・足・首など、肌の露出を少なくしましょう！



3. マダニから身を守る方法



4. 忌避剤の効果



出典 国立感染症研究所昆虫医科学部

詳細な情報は県ホームページをご覧ください。



福岡県 マダニ

検索